

	<h1>志木三小だより</h1> <p>学校教育目標 賢く 優しく 逞しく</p>	志木市立志木第三小学校
		平成29年度 第2号
		平成29年5月1日
		志木市柏町3丁目2番1号
		TEL 048 - 471 - 1062
		児童数5月1日現在608名



挨拶は一生ものの財産

校長 可知 良之

本校のキャッチフレーズは、『あいさつと笑顔があふれる志木三小』です。特に笑顔でのあいさつは大変気持ちの良いもので、私などは毎朝、子供たちの笑顔のあいさつから元気もらっています。笑顔でのあいさつは、今年力を入れていきたいことの一つと思っています。

さて、一日の最初に行うあいさつといえど何でしょうか。一人暮らしでない限り家族への「おはようございます」のあいさつが最初かと思えます。では、一日の最後にするあいさつといえば、「おやすみなさい」でしょう。これまた、家族に向かってするものです。そう、子供たちが一日の中で行うあいさつの多くは、このように対になってお父さん、お母さん、兄弟や祖父母など家族で交わす大事な習慣であることに気が付きます。そして、この習慣が実は子供たちにとっての一生ものの力（財産）になると思っています。

あいさつというと私はどうしても父のことを思い出してしまいます。昭和一桁生まれの父親でしたので一徹なところがあり、行員をしていた仕事柄、あいさつには厳しいところがありました。「社会人の第一歩はあいさつから。あいさつがまともにできないようでは、社会では通用しない。」父の口癖でした。でも、押しついたり叱ったりするわけではなく、ただ穏やかに、強い

思いを込めて教えられた気がします。

また、父はこんなこともあいさつにからめて話してくれました。「あいさつという漢字は テムヤテクタ とおまじないのよう書けば覚えられるぞ。」手偏（て）にカタカナのム、それに矢の字を書くと挨拶の挨の字になります。同様に、手偏に平仮名のくを3つ、それにカタカナのタを書けば搦の字が書けます。たわいもない親子の会話でしたが、妙にこのことが記憶に残りました。挨拶の漢字には両方とも手偏が入っています。人はあいさつをするときに、手と手を握り合って握手をしたり、手と手を振り合って親愛の情を表したりします。最近では子供たちもハイタッチなどしてそうした気持ちを表していることもあります。親愛の気持ちを込めてあいさつをすれば、心が通じ合えきつと笑顔になれる。ひょっとしたら父はそんなことを漢字を教えながら私に言いたかったのではないかと最近思うようになりました。私にとってあいさつは一生ものの力になったようです。

父からももらった一生ものの財産に感謝しつつ、今日もまた、仏壇の位牌に向かって「行ってきます」とあいさつをしています。

